

2020 年 12 月 22 日

2021 年度キャリアデザイン・インターンシップ I・II の研修受け入れに関して

ご担当の皆さま

この度は、学生による研修受け入れのご意向調査にご協力を頂きありがとうございます。お寄せ頂いたご意見、ご質問について、全てではございませんが簡単に回答をまとめました。参考にして頂けましたら幸いです。

【ご意見・ご質問 1】

新型コロナウイルス感染防止のため、インターンシップのお受け入れは困難です。

オンラインの講演であればお受けすることが可能です。よろしくお願いいたします。

オンラインでの実施の難しさを感じる。特に 1、2 年生については、何をしたいのか現状では見当がつかない。

お答えします。

2020 年 12 月末時点において、新型コロナウイルス感染症の拡大状況が厳しさを増しており、今後の推移についても予断を許しません。本学としても対応に苦慮しているところではありますが、来年 4 月以降には良い方向に向かうよう願いつつ準備を進めざるを得ません。

もちろん、企業等の皆さまにおかれましても同様に心配のことと拝察いたします。無理のない範囲で研修受け入れ、ないしはご講演の提供についてご検討頂けましたらと存じます。研修のオンラインによる実施についても、業種や業態、研修内容によっては計画そのものが困難かもしれません。よって、「気持ちは前向きだが・・・」のようにお感じであれば、ケースバイケースで私共教員も知恵を絞って参りますので、ご遠慮なくご相談頂きたく存じます。

【ご意見・ご質問 2】

講演は希望するが 90 分は長くないだろうか。また、どんな内容が適切なのか、実績があるならば事例として示して欲しい。

1 年生向け講演は 90 分とのことだが、社員一人で行うのか複数人で行うのかどちらでしょうか。

お答えします。

今年度（2020 年度）はコロナ禍の影響により、急遽 6 社様よりオンラインでご講演頂くことで学外研

修の代替としました。いずれも質疑応答時間を含めて 90 分間の設定です。研修を実施できなかったことは残念ですが、ご講演を頂いた事に対する学生（1 年生）からの反応は、思いのほかポジティブなものでした。また、チャット機能などをうまく用いることで、むしろ質疑応答は対面で行うよりも活発な場合も見られました。

内容について、企業様によってそれぞれなのですが、高校を卒業したばかりの若者ですから、同業他社と比較した場合の会社の特徴（強み）、サプライチェーンの中での位置づけ、創業のきっかけから将来展望、さらには会社内での若手社員様の活躍状況（いらっしゃれば本学卒業生なども含め）などをお話し頂けたら良いかと思われます。また、大学時代に学んでおいて欲しいことについても、学生の関心が高いポイントとも思われます。こうしたことを想定しますと、意外と 90 分間はあっという間のようにも思えます。

ご講演をされる際、お一人でも複数名でも、どちらの場合もあり得ます。ポイントによってご担当者様が変わる場合もあるでしょうし、対談形式なども考えられるかもしれません。内容、形式等をご相談頂けましたら、これも一緒に検討させて頂きたく存じます。

【ご意見・ご質問 3】

当社はいわゆる商社なので、理系学生の就業体験ニーズにはマッチしないのではないかと心配です。

お答えします。

企業様らにご無理を強いるつもりは毛頭ございませんが、むしろ「ものづくり」一辺倒ではない、様々な視点からものごとを見渡せるチカラを涵養することが本科目のねらいです。また、工学部の学生であっても営業などに興味を持つ者もおります。そのため、業種や業態に拘らずに学生の受け入れをご検討頂ければ幸いです。

【ご意見・ご質問 4】

興味がないわけではないが、1～2 年次の受入れは少し難しい状況です。

お答えします。

ともかくはご検討頂いたことに感謝を申し上げます。

インターンシップは、少なからず企業の皆さまにご負担をお願いすることになりますし、加えて、学生を受け入れることによる効果については未知数です。特に 1～2 年生のような低年次学生の場合は就職活動も始まっていない段階ですし、専門的な知識もまだほとんど身につけていません。私共としては学生を受け入れて下さるのは大変ありがたいのですが、企業様らそれぞれのご事情に応じて可能性をご検討ください。

高年次で実施する課題解決インターンシップのお受け入れに関しては、近いうちに改めて検討のお願い

いを差し上げますので、その際にはまたよろしくお願いいたします。
